

日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

U.S. PTO
09/842341
04/25/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 6月14日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-178155

出 願 人

Applicant(s):

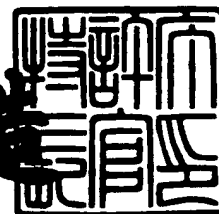
コニカ株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 3月16日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3019009

4683

【書類名】 特許願

【整理番号】 DTM00366

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G03B 27/46

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都日野市さくら町 1 番地 コニカ株式会社内

 【氏名】 山下 博

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都日野市さくら町 1 番地 コニカ株式会社内

 【氏名】 竹村 幸治

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都日野市さくら町 1 番地 コニカ株式会社内

 【氏名】 川邊 徹

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都日野市さくら町 1 番地 コニカ株式会社内

 【氏名】 佐竹 亘

【特許出願人】

 【識別番号】 000001270

 【住所又は居所】 東京都新宿区西新宿 1 丁目 2 6 番 2 号

 【氏名又は名称】 コニカ株式会社

 【代表者】 植松 富司

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 012265

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 プリント出力方法、コンピュータ読み取り可能な記憶媒体及び
プリント出力システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 被写体を撮影した画像データを可視画像としてプリント出力
するに際し、プリント上に特定情報を書き込んでプリント出力するプリント出力
方法であって、

少なくとも該特定情報の日時に関する付帯情報および該特定情報を識別もしくは
は分類するための付帯情報を該特定情報に関連づけてサーバー内に記憶させ、

プリンターに接続されたコンピュータがネットワークを介して該サーバーに
記憶された複数の特定情報を付帯情報とともに読み込み、

読み込んだ複数の特定情報のうち一部を付帯情報に基づいて選択し、

撮影画像と同一のプリント上に該特定情報を書き込むことを特徴とするプリン
ト出力方法。

【請求項 2】 撮影画像のプリント出力を業務とする店舗において、被写体
を撮影した画像データを可視画像としてプリント出力するに際し、プリント上に
特定情報を書き込んでプリント出力する方法であって、複数の特定情報をあらか
じめ優先度づけして、又は順位付けしてコンピュータに記憶させておき、顧客
の撮影画像とは無関係に、該優先度または順位に基づいて特定情報を抽出し、連
続するプリント同士では異なる特定情報を、撮影画像と同一のプリント上に書き
込むことを特徴とするプリント出力方法。

【請求項 3】 撮影画像のプリント出力を業務とする店舗において、被写体
を撮影した画像データを可視画像としてプリント出力するに際し、プリント上に
特定情報を書き込んでプリント出力する方法であって、複数の情報をあらかじめ
コンピュータに記憶させておき、該コンピュータ上で乱数を発生させること
により、顧客の撮影画像とは無関係に特定情報を抽出して、連続するプリント同
士では異なる特定情報を、撮影画像と同一のプリント上に書き込むことを特徴と
するプリント出力方法。

【請求項 4】 プリント上に書き込む前記特定情報が可視情報であることを

特徴とする請求項 1～3 のいずれかに記載のプリント出力方法。

【請求項 5】 あらかじめ蓄積された顧客情報に応じてプリント中に書き込む特定情報の種類を選択することを特徴とする請求項 1～4 のいずれかに記載のプリント出力方法。

【請求項 6】 請求項 1～5 のいずれかに記載のプリント出力方法を実行するために必要なプログラムを格納したコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。

【請求項 7】 被写体を撮影した画像データを可視画像としてプリント出力するに際し、プリント上に特定情報を書き込んでプリント出力するプリント出力システムであって、

少なくとも該特定情報の日時に関する付帯情報および該特定情報を識別もしくは分類するための付帯情報を該特定情報に関連づけて記憶するサーバーと、

前記サーバーとネットワークを介して接続されており、特定情報の種類を選択するための入力手段と、前記入力手段により入力された情報をもとに、前記付帯情報を参照して、サーバー内に記憶した特定情報を選択する選択手段と、を有する端末と、

撮影画像と同一のプリント上に該特定情報を書き込む手段と、を有することを特徴とするプリント出力システム。

【請求項 8】 被写体を撮影した画像データを可視画像としてプリント出力するに際し、プリント上に特定情報を書き込んでプリント出力するプリント出力システムであって、

複数の特定情報を優先度又は順位と関連づけて記憶する手段と、

該優先度又は順位に基づいて特定情報を顧客の撮影画像とは無関係に自動的に抽出する手段と、

前記抽出された特定情報を、撮影画像と同一のプリント上に連続するプリント同士では異なるように書き込む手段とを有することを特徴とするプリント出力システム。

【請求項 9】 被写体を撮影した画像データを可視画像としてプリント出力するに際し、プリント上に特定情報を書き込んでプリント出力するプリント出力システムであって、

複数の特定情報を記憶する手段と、

コンピュータ上で乱数を発生させることによって、連続するプリント同士では異なる特定情報を顧客の撮影画像とは無関係に自動的に抽出する手段と、

前記抽出された特定情報を、撮影画像と同一のプリント上に連続するプリント同士では異なるように書き込む手段とを有することを特徴とするプリント出力システム。

【請求項 1 0】 特定情報をプリント上に可視的に書き込む手段を有することを特徴とする請求項 7～9 のいずれかに記載のプリント出力システム。

【請求項 1 1】 顧客情報を顧客ごとに分類して蓄積する記憶手段を有し、該記憶手段により蓄積された顧客情報に応じてプリント中に書き込む特定情報の種類を選択する手段を有することを特徴とする請求項 7～1 0 のいずれかに記載のプリント出力システム。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、プリントに付加価値を与えることが出来るプリント出力方法及びプリント出力システムに関する。

【 0 0 0 2 】

【従来技術】

従来より、ラボ等においては、銀塩カメラの撮影によって銀塩ネガフィルムなどに露光された画像をプリントして顧客に提供するサービスを行っている。又、近年のデジタル技術の向上に伴い、デジタルスチルカメラなどが急速に発展していることに対応し、顧客から提供された画像データに基づき画像をプリントするサービスも行われている。

【 0 0 0 3 】

【発明が解決しようとする課題】

ところで、かかる分野においては、画像がプリントされる印画紙に、撮影画像と共に、例えば「賀正」の文字や「門松」などの画像をプリントすることによって、年賀状などのポストカードを提供するサービスが既に行われている。しかる

に、かかるサービスによって提供されるポストカードなどについては、顧客は、メーカーから供給される既製のテンプレート画像しか選択できないという問題がある。

【0004】

一方、近年のデジタルプリンターの普及によって、顧客が指定した文字やイラストを自由に画像と合成してプリント出力するサービスも行われている。しかし、プリントしようとする画像データを顧客自身があらかじめ加工するには、専用のソフトが必要であり、加工にはある程度の習熟が必要である。逆にプリント出力を業務とする店舗が顧客の要望に応じて画像データの加工をすることは、能力に限界があり、写真入り名刺のように同じ画像を何十枚もプリント出力する場合には対応できるが、1枚1枚違う文字やイラストを合成するのには適さないのが現状である。

【0005】

そこで本発明は、かかる問題点に鑑みて、顧客が撮影した画像以外に楽しめる要素をプリントに書き込むことによって、より付加価値の高いプリントサービスを簡単な操作で提供可能なプリント出力方法及びプリント出力システムを提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】

第1の本発明のプリント出力方法は、

被写体を撮影した画像データを可視画像としてプリント出力するに際し、プリント上に特定情報を書き込んでプリント出力するプリント出力方法であって、

少なくとも該特定情報の日時に関する付帯情報および該特定情報を識別もしくは分類するための付帯情報を該特定情報に関連づけてサーバー内に記憶させ、

プリンターに接続されたコンピューターがネットワークを介して該サーバーに記憶された複数の特定情報を付帯情報とともに読み込み、

読み込んだ複数の特定情報のうち一部を付帯情報に基づいて選択し、

撮影画像と同一のプリント上に該特定情報を書き込むことを特徴とする。

【0007】

第 2 の本発明のプリント出力方法は、

撮影画像のプリント出力を業務とする店舗において、被写体を撮影した画像データを可視画像としてプリント出力するに際し、プリント上に特定情報を書き込んでプリント出力する方法であって、複数の特定情報をあらかじめ優先度づけして、又は順位付けしてコンピューターに記憶させておき、顧客の撮影画像とは無関係に、該優先度または順位に基づいて特定情報を抽出して、連続するプリント同士では異なる特定情報を、撮影画像と同一のプリント上に書き込むことを特徴とする。

【 0 0 0 8 】

第 3 の本発明のプリント出力方法は、

撮影画像のプリント出力を業務とする店舗において、被写体を撮影した画像データを可視画像としてプリント出力するに際し、プリント上に特定情報を書き込んでプリント出力する方法であって、複数の情報をあらかじめコンピューターに記憶させておき、該コンピューター上で乱数を発生させることにより、顧客の撮影画像とは無関係に特定情報を抽出して、連続するプリント同士では異なる特定情報を、撮影画像と同一のプリント上に書き込むことを特徴とする。

【 0 0 0 9 】

第 4 の本発明のプリント出力システムは、

被写体を撮影した画像データを可視画像としてプリント出力するに際し、プリント上に特定情報を書き込んでプリント出力するプリント出力システムであって

、
少なくとも該特定情報の日時に関する付帯情報および該特定情報を識別もしくは分類するための付帯情報を該特定情報に関連づけて記憶するサーバーと、

前記サーバーとネットワークを介して接続されており、特定情報の種類を選択するための入力手段と、前記入力手段により入力された情報をもとに、前記付帯情報を参照して、サーバー内に記憶した特定情報を選択する選択手段と、を有する端末と、

撮影画像と同一のプリント上に該特定情報を書き込む手段と、を有することを特徴とする。

【0010】

第5の本発明のプリント出力システムは、

被写体を撮影した画像データを可視画像としてプリント出力するに際し、プリント上に特定情報を書き込んでプリント出力するプリント出力システムであって

、
複数の特定情報を優先度又は順位と関連づけて記憶する手段と、

該優先度又は順位に基づいて特定情報を顧客の撮影画像とは無関係に自動的に抽出する手段と、

前記抽出された特定情報を、撮影画像と同一のプリント上に連続するプリント同士では異なるように書き込む手段とを有することを特徴とする。

【0011】

第6の本発明のプリント出力システムは、

被写体を撮影した画像データを可視画像としてプリント出力するに際し、プリント上に特定情報を書き込んでプリント出力するプリント出力システムであって

、
複数の特定情報を記憶する手段と、

コンピューター上で乱数を発生させることによって、連続するプリント同士では異なる特定情報を顧客の撮影画像とは無関係に自動的に抽出する手段と、

前記抽出された特定情報を、撮影画像と同一のプリント上に連続するプリント同士では異なるように書き込む手段とを有することを特徴とする。

【0012】

【作用】

第1の本発明のプリント出力方法は、被写体を撮影した画像データを可視画像としてプリント出力するに際し、プリント上に特定情報を書き込んでプリント出力するプリント出力方法であって、少なくとも該特定情報の日時に関する付帯情報および該特定情報を識別もしくは分類するための付帯情報を該特定情報に関連づけてサーバー内に記憶させ、プリンターに接続されたコンピューターがネットワークを介して該サーバーに記憶された複数の特定情報を付帯情報とともに読み込み、読み込んだ複数の特定情報のうち一部を付帯情報に基づいて選択し、撮影

画像と同一のプリント上に該特定情報を書き込むものである。

【 0 0 1 3 】

第 1 の本発明のプリント出力方法によれば、サーバーにあらかじめ複数の特定情報を記憶させておき、ネットワーク（インターネットを含む）を介してプリンター側のコンピューターに特定情報を読み込み、得られた複数の情報から任意の情報を選択して、写真をプリントする際に書き込むことができる。この際に、少なくとも特定情報の日時に関する付帯情報および情報を識別もしくは分類するための付帯情報を、該特定情報に関連づけてサーバー内に記憶させておき、プリンター側のコンピューターに読み込む際も、特定情報を付帯情報とともに読み込み、プリントに書き込む情報の選択にこの付帯情報を抽出すると良い。日時に関する付帯情報は情報の新しさの目安となり、識別もしくは分類の付帯情報は、顧客の好みのジャンルから情報を選択するのに利用できる。ネットワークを介した特定情報の供給は、より多くの情報を複数の店舗に供給できるメリットがある。業者が情報サイトを提供し、店舗側が情報サイトへアクセスする方法をとれば、店側は自分で情報を収集する手間が無く居ながらに多数の情報を得ることができる。情報を提供する業者は、サーバーに記憶させた情報を、一定期間毎に更新し、店側が毎日アクセスして情報を店側のコンピューターに読み込めば、日々の最新情報がプリントに書き込めるので好ましい。尚、プリンターに接続されたコンピューターとは、プリンターに内蔵されたコンピューターを含むものである。

【 0 0 1 4 】

第 2 の本発明のプリント出力方法は、撮影画像のプリント出力を業務とする店舗において、被写体を撮影した画像データを可視画像としてプリント出力するに際し、プリント上に特定情報を書き込んでプリント出力する方法であって、複数の特定情報をあらかじめ優先度づけして、又は順位付けしてコンピューターに記憶させておき、顧客の撮影画像とは無関係に、該優先度または順位に基づいて特定情報を抽出して、連続するプリント同士では異なる特定情報を、撮影画像と同一のプリント上に書き込むことを特徴とするものである。

【 0 0 1 5 】

第 2 の本発明のプリント出力方法は、複数の特定情報をあらかじめ優先度付け

して、又は順位付けしてコンピューターに記憶させておき、その優先度又は順位付けにしたがって、情報をプリントに書き込んでいくので、好みの順序で情報をプリントに書き込める。かかる優先度又は順位付けは、特定情報をネットワークを介して読み込む場合には、特定情報を記憶したサーバー内で設定しておいてもよいし、サーバーからプリンター側のコンピューターに情報を読み込んだ後に設定してもよい。1顧客が複数のプリントを注文した際には、側々の連続するプリント同士では異なる情報が書き込まれるよう、プリントされる順に優先度にしたがって情報を書き込むことができるので、特に特定情報が広告などであれば、広範囲な情報を提供できるため好ましい。尚、撮影画像のプリント出力を業務とする店舗とは、例えばラボのようなものを言う。

【0016】

かかる優先度又は順位付けとして、20個の特定情報をプリントする場合を例にとり説明する。かかる例としては、顧客の切れ目を識別せずに、一方向的に情報を選択していく方法（ア）と、顧客の切れ目毎に優先順位1に戻して情報を選択していく方法（イ）を任意に選択できる。顧客Aが、8枚のプリント注文を行い、顧客Bが、6枚のプリント注文を行い、顧客Cが、8枚のプリント注文を行い、顧客Dが、6枚のプリント注文を行ったとすると、各顧客の受け取るプリントには、以下の数字で示す特定情報がプリントされる。

（ア）	顧客A	1	2	3	4	5	6	7	8
	顧客B	9	10	11	12	13	14		
	顧客C	15	16	17	18	19	20	1	2
	顧客D	3	4	5	6	7	8		
（イ）	顧客A	1	2	3	4	5	6	7	8
	顧客B	1	2	3	4	5	6		
	顧客C	1	2	3	4	5	6	7	8
	顧客D	1	2	3	4	5	6		

【0017】

方法（ア）によれば、全ての特定情報をまんべんなくプリントできるという効果があるが、方法（イ）によれば、優先度又は順位付けの高い特定情報がプリン

トされる頻度が高くなるという利点がある。従って、特定情報が、広告等であれば、より優先度又は順位付けの高いものほどアピール度が高まり、従ってより高額な広告料を徴収できることとなる。

【0018】

尚、優先度又は順位付けを行う場合、作業者が手入力で優先度等を入力しても良いが、所定のプログラムに従い、例えば広告料の高低に応じて、コンピュータ内部で自動的に優先度等を付与することもできる。

【0019】

第3の本発明のプリント出力方法は、撮影画像のプリント出力を業務とする店舗において、被写体を撮影した画像データを可視画像としてプリント出力するに際し、プリント上に特定情報を書き込んでプリント出力する方法であって、複数の情報をあらかじめコンピュータに記憶させておき、該コンピュータ上で乱数を発生させることにより、顧客の撮影画像とは無関係に特定情報を抽出して、連続するプリント同士では異なる特定情報を、撮影画像と同一のプリント上に書き込むことを特徴とするものである。

【0020】

第3の本発明のプリント出力方法によれば、複数の特定情報をあらかじめコンピュータに記憶させておき、1顧客が複数のプリントを注文した際に、側々の連続するプリント同士では異なる特定情報が書き込まれるよう、コンピュータ内で乱数を発生させ、その乱数をもとに情報を自動的に抽出することで、無作為に情報をプリントに書き込んでいくことができる。もしくは、特定情報をコンピュータに記憶させる際に付加される意図的ではない付加情報をもとにコンピュータの認識順（例えば数字やアルファベット、50音順）にしたがって、無作為に情報を抽出し、プリントに書き込んでいても良い。

【0021】

顧客の好みに応じて情報の特定種類を選択したい場合には、あらかじめ顧客の性別や年齢、興味対象などの情報を聞いておき、この顧客情報を蓄積して、プリントに書き込む特定情報の種類の選択に反映させることも好ましい態様である。また、顧客の撮影画像の種類に関する情報を蓄積しておき、プリントに書き込む

特定情報の種類の選択に反映させることもできる。

【 0 0 2 2 】

更に、プリント上に書き込む前記特定情報が可視情報であると好ましい。

【 0 0 2 3 】

又、あらかじめ蓄積された顧客情報に応じてプリント中に書き込む特定情報の種類を選択すると好ましい。

【 0 0 2 4 】

第 4 の本発明のプリント出力システムは、被写体を撮影した画像データを可視画像としてプリント出力するに際し、プリント上に特定情報を書き込んでプリント出力するプリント出力システムであって、少なくとも該特定情報の日時に関する付帯情報および該特定情報を識別もしくは分類するための付帯情報を該特定情報に関連づけて記憶するサーバーと、前記サーバーとネットワークを介して接続されており、特定情報の種類を選択するための入力手段と、前記入力手段により入力された情報をもとに、前記付帯情報を参照して、サーバー内に記憶した特定情報を選択する選択手段と、を有する端末と、撮影画像と同一のプリント上に該特定情報を書き込む手段と、を有することを特徴とするものである。

【 0 0 2 5 】

第 4 の本発明のプリント出力システムによれば、サーバーにあらかじめ複数の特定情報を記憶させておき、ネットワーク（インターネットを含む）を介して端末に特定情報を読み込み、得られた複数の情報から任意の情報を選択して、写真をプリントする際に書き込むことができる。この際に、少なくとも特定情報の日時に関する付帯情報および情報を識別もしくは分類するための付帯情報を、該特定情報に関連づけてサーバー内に記憶させておき、端末に読み込む際も、特定情報を付帯情報とともに読み込み、プリントに書き込む情報の選択にこの付帯情報を抽出すると良い。日時に関する付帯情報は情報の新しさの目安となり、識別もしくは分類の付帯情報は、顧客の好みのジャンルから情報を選択するのに利用できる。ネットワークを介した特定情報の供給は、より多くの情報を複数の店舗に供給できるメリットがある。業者が情報サイトを提供し、店舗側が情報サイトへアクセスする方法をとれば、店側は自分で情報を収集する手間が無く居ながらに

多数の情報を得ることができる。情報を提供する業者は、サーバーに記憶させた情報を、一定期間毎に更新し、店側が毎日アクセスして情報を店側のコンピューターに読み込めば、日々の最新情報がプリントに書き込めるので好ましい。

【 0 0 2 6 】

第5の本発明のプリント出力システムは、被写体を撮影した画像データを可視画像としてプリント出力するに際し、プリント上に特定情報を書き込んでプリント出力するプリント出力システムであって、複数の特定情報を優先度又は順位と関連づけて記憶する手段と、該優先度又は順位に基づいて特定情報を顧客の撮影画像とは無関係に自動的に抽出する手段と、前記抽出された特定情報を、撮影画像と同一のプリント上に連続するプリント同士では異なるように書き込む手段とを有することを特徴とするものである。

【 0 0 2 7 】

第5の本発明のプリント出力システムは、複数の特定情報をあらかじめ優先度付けして、又は順位付けしてコンピューターに記憶させておき、その優先度又は順位付けにしたがって、情報をプリントに書き込んでいくので、好みの順序で情報をプリントに書き込める。かかる優先度又は順位付けは、特定情報をネットワークを介して読み込む場合には、特定情報を記憶したサーバー内で設定しておいてもよいし、サーバーから端末側に情報を読み込んだ後に設定してもよい。1顧客が複数のプリントを注文した際には、側々の連続するプリント同士では異なる情報が書き込まれるよう、プリントされる順に優先度にしたがって情報を書き込むことができるので、特に特定情報が広告などであれば、広範囲な情報を提供できるため好ましい。

【 0 0 2 8 】

第6の本発明のプリント出力システムは、被写体を撮影した画像データを可視画像としてプリント出力するに際し、プリント上に特定情報を書き込んでプリント出力するプリント出力システムであって、複数の特定情報を記憶する手段と、コンピューター上で乱数を発生させることによって、連続するプリント同士では異なる特定情報を顧客の撮影画像とは無関係に自動的に抽出する手段と、前記抽出された特定情報を、撮影画像と同一のプリント上に連続するプリント同士では

異なるように書き込む手段とを有することを特徴とするものである。

【0029】

第6の本発明のプリント出力システムによれば、複数の特定情報をあらかじめコンピュータに記憶させておき、1顧客が複数のプリントを注文した際に、側々の連続するプリント同士では異なる特定情報が書き込まれるよう、コンピュータ内で乱数を発生させ、その乱数をもとに情報を自動的に抽出することで、無作為に情報をプリントに書き込んでいくことができる。もしくは、特定情報をコンピュータに記憶させる際に付加される意図的ではない付加情報をもとにコンピュータの認識順（例えば数字やアルファベット、50音順）にしたがって、無作為に情報を抽出し、プリントに書き込んでいても良い。

【0030】

更に、特定情報をプリント上に可視的に書き込む手段を有すると好ましい。

【0031】

又、顧客情報を顧客ごとに分類して蓄積する記憶手段を有し、該記憶手段により蓄積された顧客情報に応じてプリント中に書き込む特定情報の種類を選択する手段を有すると好ましい。

【0032】

尚、プリントに形成される特定情報としては、ニュース、天気予報、ランキング情報、売れ筋商品情報、イベント情報、観光案内、新製品情報、求人情報、広告、クーポン券、抽選券、占い、イラストなどこれらの情報は、文字や図表などそのまま認識できる可視情報でもバーコードや磁気情報など判別に専用の読み取り装置が必要なものでもよいが、可視情報がより好ましい。

【0033】

更に、特定情報を書き込む位置は、撮影画像の上部、下部、左右、画像と重ね合わせるなど任意に設定できる。特定情報の供給および書き込み方法について、以下に詳しく説明する。

【0034】

【発明の実施の形態】

以下、実施の形態を参照して本発明を説明する。

図 1 は、本発明のプリント出力システムの概念図である。図 1 において、プリント出力システムは、ネットワークに接続された端末の機能を有するプリンターとしてのプリント出力装置 2 0 と、サーバー 3 0 とから構成される。ラボなどに設置されると好ましいプリント出力装置 2 0 は、感光材料に露光して現像し、プリントを作成するものが例示されているが、これに限らず、画像情報に基づいてプリントを作成できるものであればよく、例えば、インクジェット方式、電子写真方式のプリント出力装置であってもよいが、特にロール状の画像形成体を用いるものが好ましい。

【 0 0 3 5 】

この実施の形態のプリント出力装置 2 0 は、本体 2 0 2 の左側面にマガジン装填部 2 0 3 を備えている。本体 2 0 2 内には画像形成体であるロール状の感光材料（印画紙）に露光する露光処理部 2 0 4 と、露光された感光材料を現像処理して乾燥し、プリントを作成し、所定の長さに切断するプリント作成部 2 0 5 が備えられ、作成されたプリントは、本体 2 0 2 の右側面に設けられたトレイ 2 0 6 に排出される。さらに、本体 2 0 2 の内部には、露光処理部 2 0 4 の上方位置に制御部 2 0 7 が備えられている。尚、異なる幅を有する複数の感光材料を装填可能なマガジン装填部 2 0 3 は、装填されるロール状の感光材料の種類（幅サイズなど）に応じて、対応する信号を制御部 2 0 7 に送信することができるようになっている。尚、制御部 2 0 7 が選択手段及び自動的に抽出する手段を構成する。

【 0 0 3 6 】

また、本体 2 0 2 の上部には、C R T 2 0 8 が配置されている。この C R T 2 0 8 がプリントを作成しようとする画像情報の画像を画面に表示する表示手段を構成している。C R T 2 0 8 の左側に、透過原稿を読み込む画像読取部であるところのフィルムスキャナ部 2 0 9 が配置され、右側に反射原稿入力装置 2 1 0 が配置されている。

【 0 0 3 7 】

フィルムスキャナ部 2 0 9 や反射原稿入力装置 2 1 0 から読み込まれる原稿として写真感光材料があり、この写真感光材料としては、カラーネガフィルム、カラーリバーサルフィルム、白黒ネガフィルム、白黒リバーサルフィルム等が挙げ

られ、アナログカメラにより撮像した画像データが記憶される。フィルムスキャナ部209のフィルムスキャナーでデジタル情報に変換し、画像データとすることができる。また、写真感光材料がカラーペーパーの場合、反射原稿入力装置210のフラットベツトスキャナーで画像データにすることができる。

【0038】

また、本体202の制御部207の位置には、画像転送部214が設けられている。画像転送部214には、上述したリムーバブルメディアM（PCカード）の他、画像データを記憶しているICカード213aやフロッピーディスク213bなども差し込み可能になっており、差し込まれた記憶媒体の画像データ等が読み出される。

【0039】

CRT208の前側に操作部211が配置され、この操作部211に情報入力手段212が設けられ、情報入力手段212は、例えばタッチパネル等で構成される。

【0040】

また、本体202には、記憶メディア書込み部215が設けられ、画像データを有するリムーバブルメディアM等から、画像データを出力しプリントを作成する際に、記憶媒体中の画像データを磁気記憶メディア、光記憶メディア等へ書き込む書込み手段K（図2）が設けられている。

【0041】

画像データ記憶する記憶媒体として、具体的には、マルチメディアカード、メモリーステック、MD、CD-ROM等のリムーバブルメディアが挙げられるが、これらに限られない。

【0042】

なお、操作部211、CRT208、フィルムスキャナ部209、反射原稿入力装置210、画像転送部214及び記憶メディア書込み部215は、本体202に一体的に設けられて装置の構造となっているが、いずれか1つ以上を別体として設けてもよい。

【0043】

図 2 は、プリント出力装置 2 0 の構成を示すブロック図である。

【 0 0 4 4 】

プリント出力装置 2 0 の制御部 2 0 7 は、情報入力手段 2 1 2 からの指令情報に基づき、フィルムスキャナ部 2 0 9 や反射原稿入力装置 2 1 0 からの原稿情報の読み込みを行い、画像情報を得て C R T 2 0 8 に表示する。

【 0 0 4 5 】

また、プリント出力装置 2 0 は、データ蓄積手段 2 7 1 及び特定情報記憶手段 2 7 2 を有する。データ蓄積手段 2 7 1 に、リムーバブルメディア M から読み込んだ画像データと、それに対応するプリント注文情報（どの駒の画像から何枚プリントを作成するかの情報、プリントサイズの情報等、詳しくは後述する。）とを記憶し順次蓄積することができる。フィルムスキャナ部 2 0 9 からは、アナログカメラにより撮像されたネガフィルムを現像して得られる現像済のネガフィルム N から駒画像が入力され、反射原稿入力装置 2 1 0 からは駒画像を印画紙に焼き付けて現像処理したプリント P から駒画像が入力される。

【 0 0 4 6 】

特定情報記憶手段 2 7 2 は、背景画像と合成領域を設定する少なくとも 1 個の画像データと、それに対応させる特定情報をサーバー 3 0 から読み出して記憶するようになっている。特定情報記憶手段 2 7 2 に記憶された複数の特定情報から、後述する態様で一つの特定情報が選択され、画像データは選択された特定情報と合成されて、合成された画像データに基づきプリントが作成される。ここでは、特定情報記憶手段がプリント出力装置 2 0 に格納されているケースで説明したが、特定情報記憶手段がプリント出力装置から独立したコンピュータ内にあり、合成された画像データをプリント出力装置 2 0 に送ってプリントさせてもよい。

【 0 0 4 7 】

特定情報の記憶については、通信手段 2 4 0 から、インターネットなどのネットワーク N を介して特定情報がストックされているサーバー 3 0 にアクセスすることで、記憶された特定情報を読み出すことが出来るが、予め特定情報記憶手段 2 7 2 の中に、複数の特定情報をダウンロードさせておくことでも構わないし、プリントするときに所望の特定情報だけをダウンロードして合成した後プリント

することでも良い。

【0048】

また、制御部207は、画像処理部270を有し、この画像処理部270で画像情報を画像処理して露光用画像情報を形成し、露光処理部204に送る。露光処理部204では、感光材料に画像の露光が行われ、この感光材料をプリント作成部205に送り、プリント作成部205で露光された感光材料を現像処理して乾燥しプリントを作成する。

【0049】

このプリント出力装置20の画像転送部214には、リムーバブルメディアM等の画像データ等を読み出して転送する読取手段230と、サーバー30と通信可能な通信手段240とが備えられている。読取手段230は、画像転送部214に差し込まれたリムーバブルメディアMから、記憶された画像データを読み取り、マイクロコンピュータで構成される制御部207へ転送することができる。一方、通信手段240は、ネットワークNを介してサーバー30と通信し、画像データなどを入力可能となっている。

【0050】

次に、本実施の形態にかかるプリント出力装置20のプリントにかかる動作について、図3を参照して説明する。図3は、プリント出力装置20によるプリントを説明するための図である。尚、プリント出力装置20は、記録媒体である内部のハードディスクに格納されたプログラムに基づいて、以下のプリント出力方法を実行できるようになっている。

【0051】

まず、サーバー30にあらかじめ複数の特定情報が、日時に関する付帯情報と、それを識別もしくは分類する付帯情報と対応づけて記憶されているものとする。ここで、作業者が、顧客の性別・年齢などの参照情報を入力手段としての操作部212から入力すると、プリント出力装置20の制御部207（コンピュータ）は、通信手段240からサーバー30にアクセスして、かかる参照情報に基づいて、記憶されている特定情報から、顧客が興味を持つと思われる特定情報を自動的に抽出して、抽出された特定情報を付帯情報と共にダウンロードする。

【0052】

ダウンロードされた特定情報は、CRT208に表示されるので、付帯情報に基づき、プリントに付与すべき特定情報を選択することが出来る。ここで、日時に関する付帯情報は情報の新しさの目安となり、識別もしくは分類の付帯情報は、顧客の好みのジャンルから情報を選択するのに利用できる。従って、例えば顧客が若い女性の場合には、星占いなどに興味があると考えられるので、今週の星占いに関する付帯情報を、サーバー30から検索して読み出すことにより、図3(a)に示すよう、印画紙Pの画像G1の脇に画像G2として形成して提供することが出来る。

【0053】

一方、例えば顧客が若いサラリーマンなどであれば、パソコンなどの情報機器などに興味があると考えられるので、例えば激安パソコンなどに関する付帯情報を、サーバー30から検索して読み出すことにより、図3(a)に示すよう、印画紙Pの画像G1'の脇に画像G2'として形成して提供することが出来る。かかる選択は、作業者が行っても良いが、制御部207が自動的に行うと好ましい。

【0054】

従って、顧客の好みに応じて情報の特定種類を選択したい場合には、あらかじめ顧客の性別や年齢、興味対象などの情報を聞いておき、この顧客情報を蓄積して、プリントに書き込む特定情報の種類の選択に反映させることも好ましい態様である。また、顧客の撮影画像の種類に関する情報を蓄積しておき、プリントに書き込む特定情報の種類の選択に反映させることもできる。

【0055】

更に、業者がサーバー30内で情報サイトを提供し、ラボ側が情報サイトへアクセスする手法をとれば、ラボ側は自分で情報を収集する手間が無く居ながらに多数の情報を得ることができる。情報を提供する業者は、サーバー30に記憶させた情報を、一定期間毎に更新し、ラボ側が毎日アクセスして情報をプリント出力装置20に読み込めば、日々の最新情報がプリントに書き込めるので好ましい。

【 0 0 5 6 】

更に、本実施の形態の変形例として、特定情報記憶手段 2 7 2（コンピュータ）には、複数の特定情報としての広告をあらかじめ優先度付けして、又は順位付けして記憶しておくことも考えられる。かかる場合、その優先度又は順位付けにしたがって、広告をプリントに書き込んでいくので、好みの順序で情報をプリントに書き込める。かかる優先度又は順位付けされた広告は、サーバー 3 0 に予め記憶されていても良く、その場合ネットワーク N を介して読み込むこともできる。又、広告のみがサーバー 3 0 に記憶され、サーバー 3 0 からプリント出力装置 2 0 に広告を読み込んだ後に、優先度等を設定してもよい。

【 0 0 5 7 】

本変形例によれば、図 3（b）に示すように、1 顧客が複数のプリントを注文した際には、例えば 1 枚目の画像 G 1 には、「特許商事」の広告 G 2 が付与され、2 枚目の画像 G 1' には、「発明商事」の広告 G 2' が付与されるというように、連続するプリント同士では異なる広告が書き込まれるようになっているので、優先度にしたがって、より広告効果を高めることが出来る。尚、図 4 に示すように、特定情報 G 3 と撮影画像 G 1 との間にミシン目を設けて、互いに切り離すことが出来るようにしても良い。

【 0 0 5 8 】

尚、優先度又は順位付けを行う場合、作業者が手入力で優先度等を入力しても良いが、所定のプログラムに従い、例えば広告料の高低に応じて、コンピュータ内部で自動的に優先度等を付与することもできる。しかしながら、広告数が多い場合には、優先度を付けることが出来ないこともあり得る。そのような場合には、広告などの複数の特定情報をあらかじめ特定情報記憶手段 2 7 2（コンピュータ）に記憶させておき、特定情報記憶手段 2 7 2 上で乱数を発生させることにより、顧客の撮影画像とは無関係に、また優先度付けすることなく任意の広告を抽出して、連続するプリント同士では異なる広告を撮影画像と同一のプリント上に書き込むようにしても良い。

【 0 0 5 9 】

以上、本発明を実施の形態を参照して説明してきたが、本発明は上記実施の形

態に限定して解釈されるべきではなく、適宜変更・改良が可能であることはもちろんである。

【 0 0 6 0 】

【発明の効果】

本発明によれば、画像形成媒体を効率よく使用でき、又アピール度の高い画像を形成できるプリントシステム、プリント方法及び画像形成体を提供することが出来る。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本実施の形態にかかるプリント出力装置（画像形成装置）の斜視図である。

【図 2】

プリント出力装置の構成を示すブロック図である。

【図 3】

プリント出力装置 2 0 によるプリントの例を示す図である。

【図 4】

プリント出力装置 2 0 によるプリントの例を示す図である。

【符号の説明】

2 0 プリント出力装置

2 0 9 フィルムスキャナ部

2 1 0 反射原稿入力装置

2 3 0 読取手段

2 7 0 画像処理部

C リムーバブルメディア

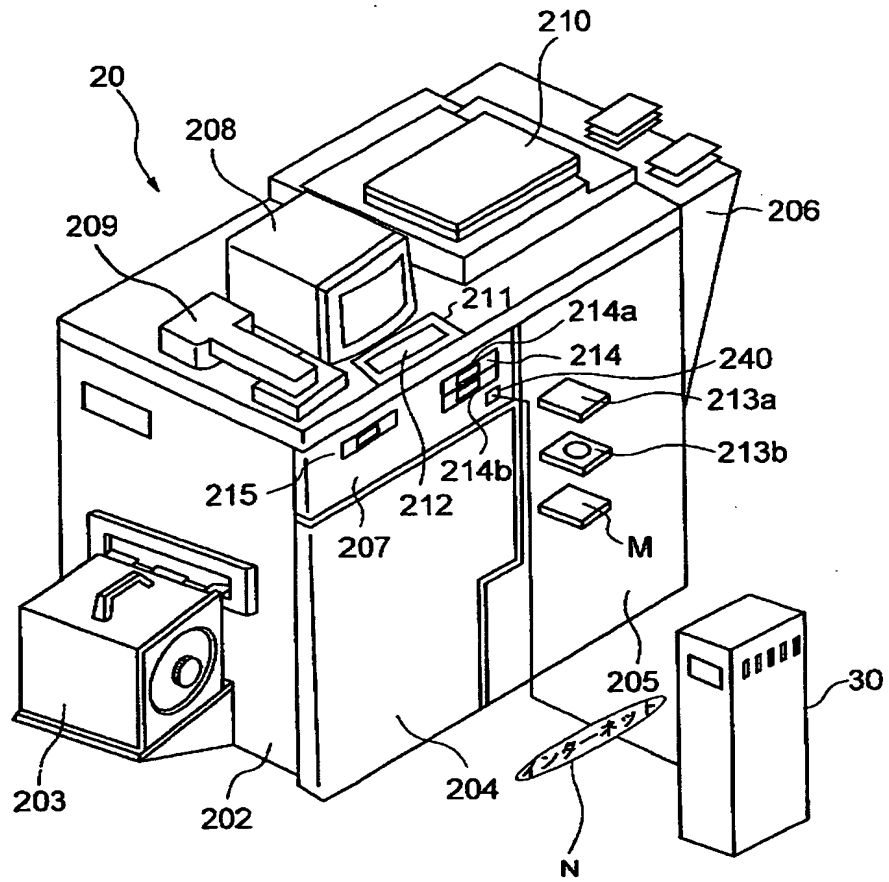
M リムーバブルメディア

P 印画紙

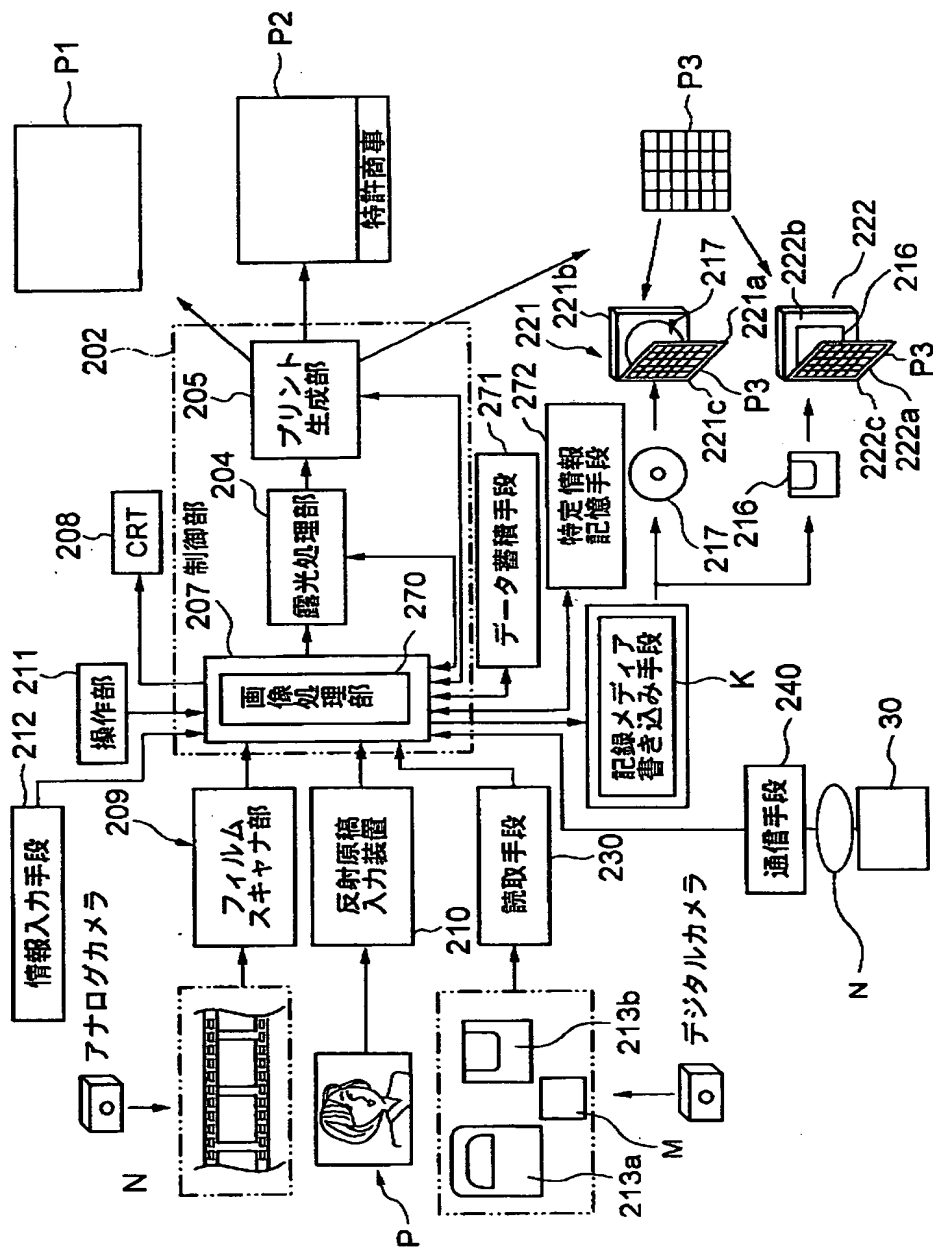
【書類名】

図面

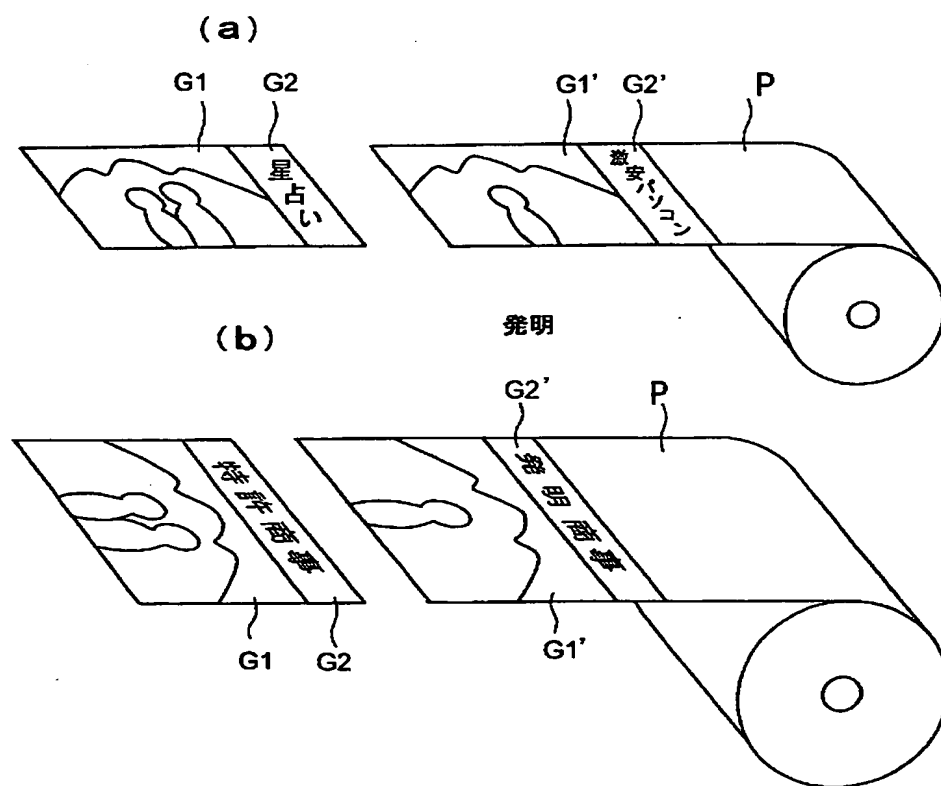
【図1】



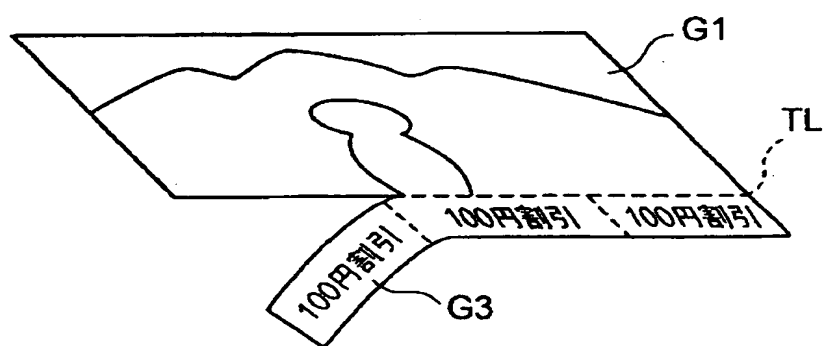
【図 2】



【図3】



【図4】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】

より付加価値の高いプリントサービスを提供可能なプリント出力方法及びプリント出力システムを提供する。

【解決手段】

日時に関する付帯情報は情報の新しさの目安となり、識別もしくは分類の付帯情報は、顧客の好みのジャンルから情報を選択するのに利用できる。従って、例えば顧客が若い女性と判っていれば、星占いなどに興味があると考えられるので、今週の星占いに関する付帯情報を、サーバー 3 0 から検索して読み出すことにより、印画紙 A の画像 G 1 の脇に画像 G 2 として形成して提供することが出来る。

。

【選択図】 図 3

特 2 0 0 0 - 1 7 8 1 5 5

認 定 ・ 付 加 情 報

特許出願の番号	特願 2 0 0 0 - 1 7 8 1 5 5
受付番号	5 0 0 0 0 7 3 8 5 4 1
書類名	特許願
担当官	第一担当上席 0 0 9 0
作成日	平成 1 2 年 6 月 1 5 日

< 認定情報・付加情報 >

【提出日】	平成12年 6月14日
-------	-------------

次頁無

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000001270]

1. 変更年月日 1990年 8月14日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都新宿区西新宿1丁目26番2号

氏 名 コニカ株式会社